

令和5年度 果樹の生育情報 No.4

令和5年8月4日

農業経営課

1 気象概況

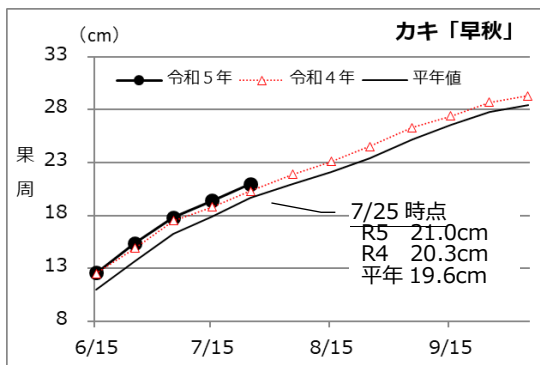
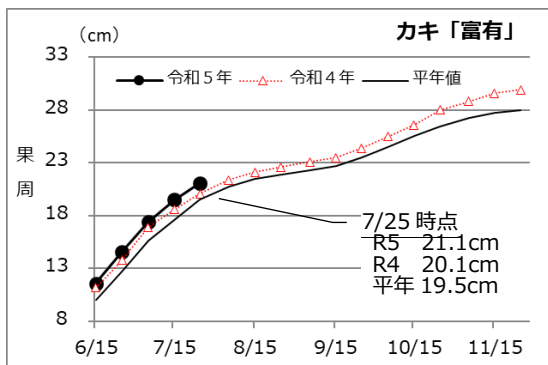
6月以降もやや高い気温推移で、7月の気温はとくに高くなっています。

	< 6月の平均気温 >	< 7月の平均気温 >
岐阜市アメダス	23.8℃ (平年比+0.6℃)	28.8℃ (平年比+1.8℃)
恵那市アメダス	21.3℃ (平年比+0.5℃)	25.8℃ (平年比+1.2℃)
高山市アメダス	20.2℃ (平年比+0.5℃)	24.8℃ (平年比+1.3℃)

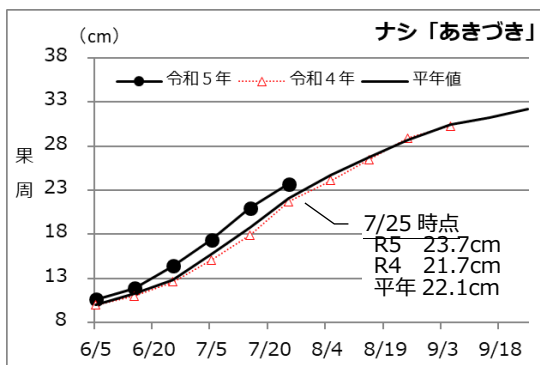
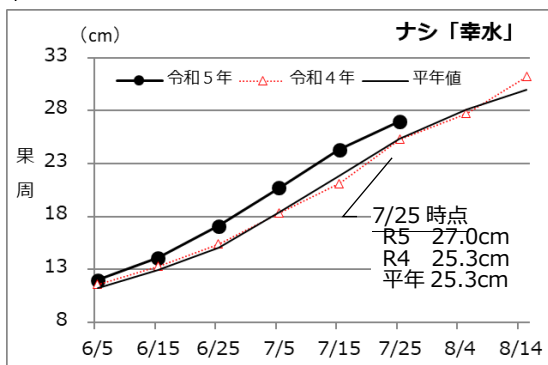
2 果実肥大状況

主要果樹の果実肥大は、カキ、ナシ、モモでは前年、平年より大きく、リンゴでは平年より大きく推移しています。

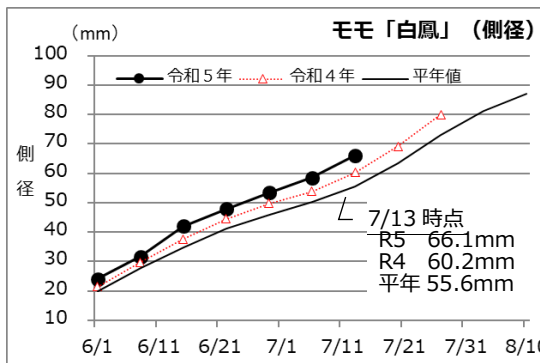
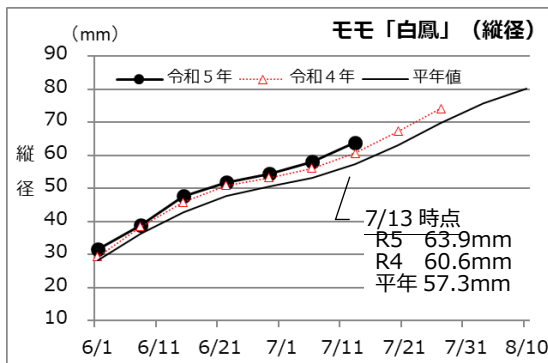
○カキ



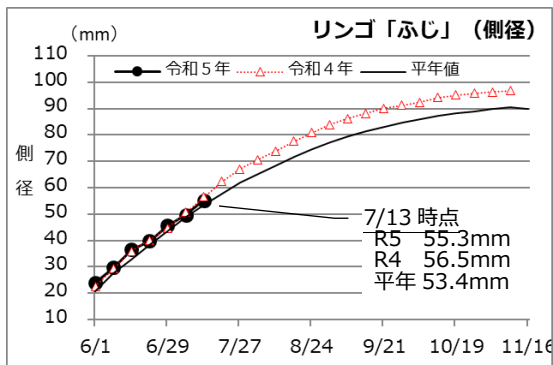
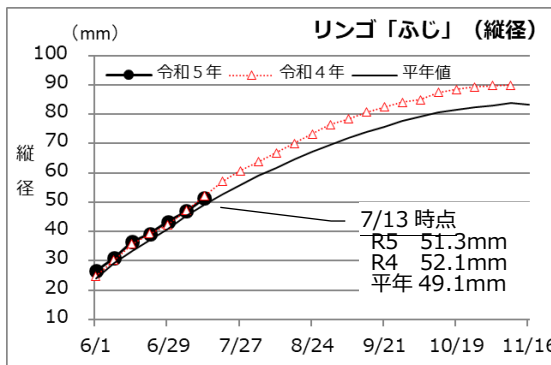
○ナシ



○モモ



○リンゴ



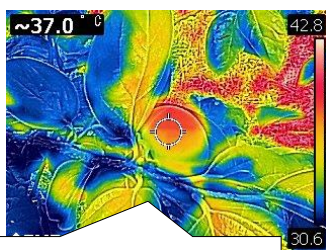
※カキ、ナシ：農業技術センター（岐阜市）、モモ、リンゴ：中山間農業研究所本所（飛騨市）

3 栽培上の留意点

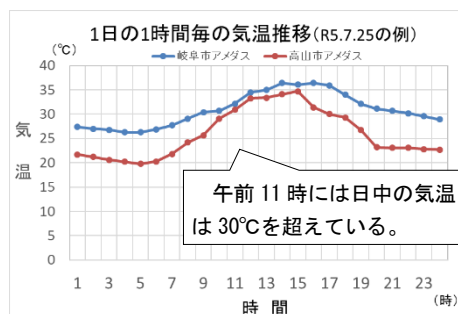
ナシ、モモ等の夏果実の収穫が始まります。本年は開花期が早く、その後も気温が高く推移したことから、平年より早い収穫開始となりそうです。高温期での収穫となることから、収穫時の果実の取扱い、品質管理に留意して作業を行いましょ。また、台風シーズンに入りますので事前・事後対策の徹底をお願いします。

(1) 高温期における収穫の留意点

- ・果実温が上昇すると呼吸量が増え、日持ち性が低下するため、果実温を低く維持することが重要である。収穫は果実温の低い早朝より開始し、遅くとも午前10時にはとり終えるようにする。
- ・収穫した果実は、直射光にわずかな時間さらされただけでも果実温が上昇するため、果実は日陰へ置き、できるだけ早く風通しのよい出荷調整場などへ持っていく。
- ・収穫したコンテナや箱詰めした出荷箱を1か所に積み上げると熱がこもり果実温が上昇するため、収穫後の取扱いも注意する。



直射光が当たっている果実の表面温度の例
午前11時頃で40℃を超えている (R1, 8, 13)



(2) 台風の事前・事後対策

台風へ備え、以下の事前・事後対策を徹底しましょう。

【事前対策】

- 排水対策（排水溝の確認等）を徹底する。 ○防風ネット等の設置・補強をする。
- 倒伏防止、枝折れ防止のための支柱設置や誘引を行う。
- 果樹棚の点検、張線の締め直し、支柱による補強、枝の結束状況の確認等を行う。
- 収穫が始まった品種は、できるだけ収穫する。

【事後対策】

- 台風通過後は、殺菌剤による病害予防の徹底を図る。
- 倒伏した樹や太い枝折れは早急に元の状態に戻し、結束や支柱設置による補強を行う。
- 落葉がひどい場合は、被害程度に応じて摘果（着果数制限）し、樹体の負担軽減を図る。
- 落果した果実は速やかに園外で処分する。
- 樹の損傷等被害程度に応じ、来年度に向けた礼肥、基肥量は減らす。